

<第 4381 回>

目的地：愛宕山・清滝（京都北山）

担当者：白神

実施日：2023 年 6 月 24 日（土）

形式：ハイキング&ホタル観賞（夜間）

費用：¥1.630（JR大阪駅発 阪急大阪梅田着）

参加者：3 名

天気：曇り時々晴

行程：

保津峡駅(11:00)→(12:10)荒神峠(→(12:15)→(13:00)水尾別れ→(13:30)愛宕神社[昼食](13:10)→(15:00)月輪寺→(15:50)空也滝入口(15:55)→(16:10)空也滝(16:30)→(17:10)清滝[夕食]→(18:00)渡猿橋[ホタル飛翔待ち]19:50頃ホタル飛翔始める(20:20)→(21:20)阪急嵐山駅[解散]

感想：

事前に掲示板にネガティブな情報をお知らせしたものですから、一体何人参加してくれるのか心配でしたが、幸いお二人の参加をいただき、ごちんまりとした例会を行うことが出来ました。

ツツジ尾根は登山道に入った途端、急登です。ここでゆっくりペースを守ることが、後々効いてくるんですよ。尾根に出て斜度が緩んでしばらく行くと荒神峠。ここでまた呼吸を整えて、再び現れる急登に備えます。表参道に合流するまではあまり人に出会いませんでしたが、表参道には大勢の登山者（参拝者）がいました。愛宕神社の前で昼食を取って、神社でお札を買ったら、月の輪寺方面へ下山。こちらのコースもそれほど人は多くなく自分たちのペースで歩けます。お堂を閉める間際の月輪寺で仏様を見学させていただいて、さらに先へ。梨ノ木谷の車道まで降りたらそこから空也滝へ向います。途中少し気味の悪い廃屋の庭先の様な場所を過ぎて、しばらく行けば空也滝が目の前に。時節柄結構な水量で立派な滝でした。滝の周辺には燭台や役行者の石像などがあって、少しばかり霊的な雰囲気も漂います。

滝から車道を歩いて清滝に着いたのが 17:10 頃。ホタルが飛び始めるにはまだかなり時間があります。唯一開いていた飲食店（あたごみせ智楽庵）で 3 人でカレーうどんをいただきました。聞けばこのお店の営業時間は 5 時までとか。わざわざ閉店を延ばしていただきありがとうございました。ご主人に聞いたところ、ホタルは結構飛んでいるとのこと。6 時頃から清滝渡猿橋の上でひたすら暗くなるのを待ちました。メンバー 3 人ともこれから 2 時間待つのは長いから、もう帰ろうよと言わないところが、気合が入ってる証し。やがてとっぷり日が暮れた頃、一匹のホタルが舞っているのを発見（第一発見者は M さん）。さらに周りが暗くなるにつれて、何匹ものホタルが舞い始めました。しばらく橋の上から見ていましたが、川のほとりに降りて見るとさらに多くのホタルが舞っていました。暗闇が濃くなるにつれホタルの光が鮮やかになりますが、いつまでもここに留まっているわけにもいきません。ここから 1 時間かけて嵐山まで歩かないといけません。後ろ髪を引かれつつ清滝を後にして、清滝トンネルに向います。清滝トンネル、夜歩くのもそれなりに怖いですが、数台すれ違った車の方もドキッとされたんじゃないでしょうか。そして全く人通りの途絶えた嵐山をリュックを背負った 3 人が静かに阪急嵐山駅まで歩いていきました。